



こやまの小旅

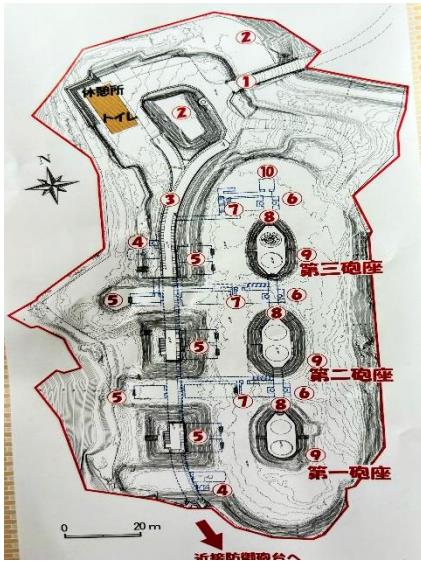


千代崎砲台跡・軍事築城を見る

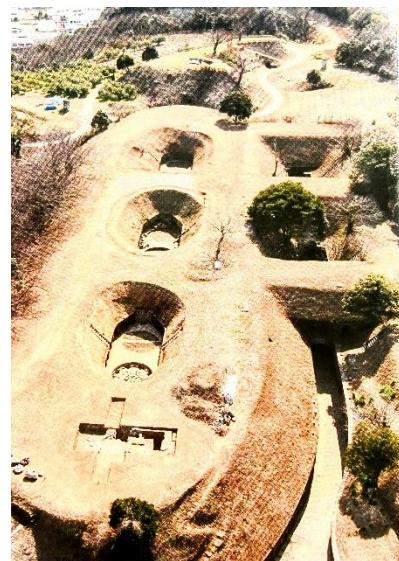
京急横浜→久里浜→京急バス→燈明堂入口下車→徒歩 15 分

東京湾砲台跡 32 か所のうち保存状態の良い、猿島砲台跡と千代ヶ崎砲台跡の 2 か所が国史跡に指定されています。

千代ヶ崎砲台跡は、一般公開されたのが今年で 4 年と新しく、他ではあまり見ない砲台跡です。



パンフレットより



江戸後期、会津藩により平根山に台場が作られ、明治 28 年に陸軍が建設しました。砲座には、口径 28 cm の榴弾砲が備えられ、東京湾口の防衛、援助に当たりましたが射程距離が 7.8 km と短く防衛にはならなかったそうです。(東京湾交戦は無し) 第 2 次大戦後は、農地として民間に払い下げ、砲台跡地を防衛庁が取得し海上自衛隊送信所として使用後、平成 25 年閉鎖されました。



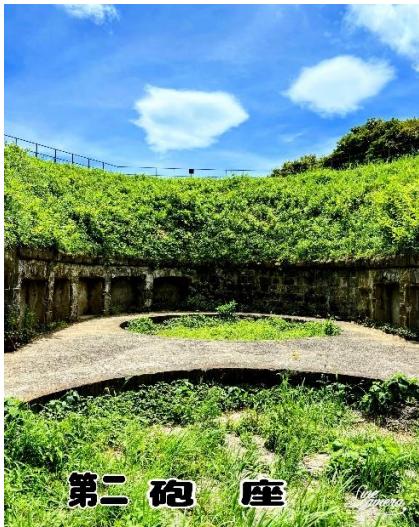
↑
通路→



揚弾井
(ここから砲弾が持上げられた)



第三砲座



第二 砲 座



堀井戸



沈殿池

地表から 6 m 低い砲座



監獄レンガ

- ・井戸は1か所で、生活用水は雨水を集め沈殿池から濾過池を経由して貯水所へ。
汚水の排水も整備されています。
- ・地下施設の壁は、レンガ作りで天井は無筋コンクリート作り。レンガは桜の刻印があり囚人の手によって焼かれ、「監獄レンガ」と言われました。



弾薬庫



砲弾スペース

砲弾は、砲座回りの壁面をくり抜いた
ようなスペースに縦に置かれていました。



点灯室
壁面のランプ

弾薬庫にはランプが持ち込めないので、砲弾薬庫とそれを隠すための仕切り壁に、ガラスをはめ込んでランプを設置して、両室を照らしました。



砲台の上

砲台跡地には、右翼観測所と左翼観測所がありました。戦後の民間払い下げにより、右翼観測所は防衛砲台のあるエリアですが、民有地のため見学は不可です。

せっかくなので、燈明堂跡も見学



千代ヶ崎砲台から、徒歩 10 分程で燈明堂跡へ



◆日本式灯台

石垣(高さ 1.8m 幅 3.6m 四方)を土台にして、2 階建て階下は番人小屋で階上は、四方を紙張り障子と、その上に金網をめぐらしていた。その中に、直径 36.4 cm 深さ 12.2 cm の銅製の燈明皿が置かれ一晩に百本の灯心と 1.8ℓ の菜種油が灯され、光は 7.2 km に達しました。

明治 5 年に廃止になるまで 220 年間、活躍しました。

その後、風雨で崩壊し土台のみ残り平成元年建物部分を復元し、横須賀市史跡に指定される。

★燈明堂は、公園になっており（お弁当等の飲食もできベンチもあります）眼下には小さな海水浴場が見えます。

付近には、かつて浦賀奉行所の処刑場だった為、供養塔が並んでいます。

海を一望することができ、ベンチもありますが周りは何もないところでした。

しかし道中、蛇の歓迎に会い、たじろぐも前進あるのみ。頑張りました。

★千代ヶ崎砲台跡の見学は、土・日・祝日のみで、地下見学はガイド無しでは見られません。（予約なし）

約 50 分程のガイドツアーです。

トイレも 1 か所、水洗ではなく、バイオトイレです。（水の代わりに、おが屑状の物が出てきます）

水道は、ありませんが自販機はあります。

バスを降りたら近隣には、コンビニ、飲食店等全くありません。

猿島砲台跡より、11 年遅く建設されましたが、レンガ造りや通路など、とてもよく似ています。

猿島もガイドさんがいないと、鍵のかかった見学場所は、見られませんが……興味のある方は、猿島と比較されると面白いかも？